
カエル！ジャパン通信 Vol.212 令和5年7月11日

発行：内閣府 仕事と生活の調和推進室

<<<今号の目次>>>

1. 取組紹介 分散型ネットワーク社会へ

新しい働き方の実現とサステナビリティへの貢献

日本電信電話株式会社

2. 最新情報

《お知らせ》 1件

《地方公共団体等の動き》 11件

■□■ 1. 取組紹介 ■□■

分散型ネットワーク社会へ

新しい働き方の実現とサステナビリティへの貢献

会社名 日本電信電話株式会社

事業内容 通信事業

本社所在地 東京都千代田区

社員数 8連結ベースの従業員数は333,850名（2022年3月31日現在）

世界は大変革の時代に立っており、働き方にも新しい風が吹いています。コロナ禍を経験し、リモートワークの可能性を探ることで、より自由度の高い働き方とワーク・ライフ・バランスを実現する新たなスタイルが登場しました。その先進的な取組についてNTT広報部に伺いました。

◆リモートワークを基本とした新しい働き方を実現

2021年9月28日に、分散型ネットワーク社会に対応した「新たな経営スタイル」を発表し、その中で、with/after コロナ社会においても、社員の働き方はリモートワークを基本とし、働き方を自由に選択・設計可能とすることで「ワークインライフ（健康経営）」を推進する方向性を示しました。

2020年以降コロナ禍の中で、リモートワーク制度・リモートワーク手当・スーパーフレックスタイム・分断勤務・サテライトオフィスの拡充等により、社員の「働く時間」や「働く

場所」の自由度を高めてきましたが、ワークインライフをより一層推進するためには、「住む場所」の自由度を高めることが重要であるとの認識に立ち、2022年7月に日本全国どこからでもリモートワークにより働くことを可能とする制度（リモートスタンダード）を導入しました。

こうした取組により、社員のライフスタイルやワークスタイルの選択肢を拡大し、多様な働き方・働く環境を整備していくことで、**従業員体験（EX）の高度化**に繋がるとともに、ICT企業として分散型ネットワーク社会を先導し、地域創生やお客様のDX推進等、**お客様体験（CX）の高度化**にも繋げ、新たな価値創造とサステブル社会を支える会社としていきたいと考えております。

◆新たなリモートスタンダードを浸透させる

まず、リモートワークを基本とする新たな働き方を推進することは、出社を0%にすることが目的ではなく対面とリモートのハイブリッドを推進し、社員の働き方の自由度を高めワークインライフを推進していくことが目的です。

例えば、リモートワーク環境下ではコミュニケーションが不足しがちなため、特に新入社員や若手社員等に対しては、Web会議ツールやチャットツールを活用したコミュニケーションを推進しています。

その一方で、「現物を見て学ぶ」「先輩と同行して学ぶ」など実際に体験して習得する方が効果的な場面はあるため、必要に応じて対面でのコミュニケーションも組み合わせ、育成等を進めていく考えです。また、グループ会社のNTTコミュニケーションズが「リモートワークハンドブック」と「オンボーディングハンドブック」を製作しました。こちらはサイトに公開し、全社に浸透させました。

<https://nttcom.github.io/remote-work-handbook/>

<https://nttcom.github.io/onboarding-handbook/>

これまでのリモートワークでは、ベースとなる勤務場所を会社と位置づけていたことから、原則として会社に通勤できる範囲に居住することとしていました。

新たなリモートスタンダードの働き方においては、勤務場所が自宅となるため、居住地に関する制限が無くなるということが一番大きな違いとなります。日本国内であればどこに居住していても出社にかかる費用は会社が負担するため、社員の選択の幅が広がり、結果として転勤や単身赴任を伴わない働き方の拡大にも繋がるものと考えています。実績としては、制度の対象となる社員が、2022年7月当初は約2.9万人でしたが、2023年4月時点で約4.3万人と約5割増加しています。

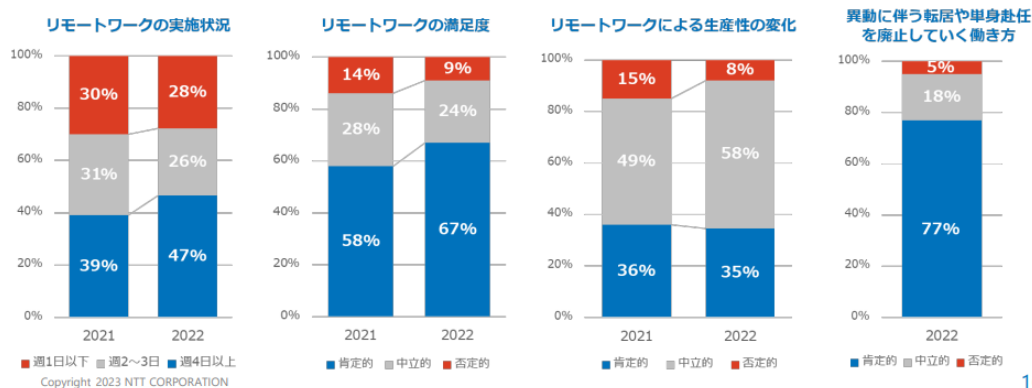
また2022年6月末時点で約4,900人いた単身赴任者が、2023年4月で約800人（約2割）減少しました。これは、転勤をきっかけにこれまでであれば単身赴任していたであろう人が

単身赴任をしない選択をしたため、または既に実施していた単身赴任を解消したためと理解しています。

(参考) リモートワークに関する社員意識調査結果



- ・ 国内会社の社員に対する意識調査を実施。回答者約12万人の内、リモートワーク可能と回答した社員は約7.5万人
- ・ リモートワーク可能と回答した社員の中では、実施頻度、満足度ともに上昇
- ・ 生産性に対する社員本人の認識は、「生産性が上がっている」または「変化なし」の回答が9割
- ・ 居住地自由の働き方に対して、社員の約8割が肯定的に回答



図：第三四半期決算会見より

リモートワーク一辺倒ではなく、対面コミュニケーションを組み合わせる等、従来のスタイルの良かった点も残しながら、新しいものを創造していけるようなハイブリッド型の取組を進めていきます。また今後は、業務のDXを通じて適用対象となる社員を更に拡大していく考えです。

2. 最新情報

《お知らせ》

【厚生労働省】

●自営型テレワーク活用セミナー（オンライン）

自営型テレワーク活用セミナー（※）を8月・10月にオンラインで開催します。

自営型テレワークの基本を知り、「自営型テレワークの適正な実施のためのガイドライン」を理解することで、自営型テレワーカーに業務を注文する発注者および仲介事業者と自営型テレワーカーが、トラブルを未然に防止し円滑に業務を進めることを目的としたセミナーです。ぜひご活用ください。【事前申し込み制・参加無料】

（※）自営型テレワーク活用セミナーは、会社に雇用されないで、請負契約などにより、主に自宅などでテレワークを行う方やそのような方へ業務委託をしたいと考えている事業者の方などに向けた説明会です。

・ 自営型テレワーカー向け @ZOOM ウェビナー

第1回 2023年8月3日(木) 10:00~12:00

第2回 2023年10月26日(木) 10:00~12:00

・ 発注者・注文者等企業向け @ZOOM ウェビナー

第1回 2023年8月3日(木) 14:00~16:00

第2回 2023年10月26日(木) 14:00~16:00

詳細、申込はWEBサイトにて

■ 自営型テレワーカー向けセミナー

https://homeworkers.mhlw.go.jp/seminar/2023_w.html

■ 発注者・注文者等企業向けセミナー

https://homeworkers.mhlw.go.jp/seminar/2023_c.html

《地方公共団体等の動き》

各事業の詳細はそれぞれの地方公共団体にお問い合わせください。

【青森県】

「アイデアは、私らしく！まちづくりセミナー」受講生募集のお知らせ

地域での活動の幅を広げたい！仲間をつくりたい！私の強みを活かしたい！このような想いをお持ちの女性の皆様、日ごろの思いや経験を活かして、自分も地域も幸せにするチカラを身につけませんか？

日時：

第1回 令和5年7月21日(金) 13:30~16:30

第2回 令和5年8月17日(木) 13:30~16:30

第3回 令和5年9月25日(月) 13:30~16:30

第4回 令和5年10月23日(月) 13:30~16:30

第5回 令和5年11月20日(月)又は21日(火) 13:30~16:00 ※日程は未定です

場所：下北文化会館

対象：

- ・ 青森県在住の18歳以上の女性
- ・ 地域づくりやまちづくり等に興味のある方
- ・ 全4回の講座+修了式に参加できる方

定員：10名

申込方法：電話、FAX又はメール

申込締切：令和5年7月17日(月)

http://www.apio.pref.aomori.jp/gender/news/tiikijosei_2023/

【長野県】

「コミュニケーションは『聞く力』と『伝える力』～人生を楽しむためのコミュニケーションとは～」開催のお知らせ

「聞く力」と「伝える力」のコツ！知って、使って、続けてみれば、あなたの人間関係が変わります♪

日時：令和5年8月5日（土）13：30～15：30（受付13：10～）

場所：駒ヶ根市市民交流活性化センター「アルパ」

対象：長野県在住・在勤・在学の方

受講料：無料

定員：40名 ※先着順

申込方法：ながの電子申請サービス又は電話

申込締切：令和5年7月28日（金）

<https://www.pref.nagano.lg.jp/aitopia/event/jigyo/050805komyunikeishon2.html>

【愛知県】

「社会的養護」を知りたい！「社会全体で子どもを育む」ってどういうこと？

「子どもの最善の利益のために」「社会全体で子どもを育む」が理念の「社会的養護」。さまざまな理由で親と一緒に暮らせない子どもたちが安心して生きていくための「社会的養護」について、私たちはどれだけのことを知っているのでしょうか。例えば児童養護施設、里親、養子縁組など、社会的養護の基本的な内容や現状を学びながら、社会的養護下の子どもたちや自立後の若者たちの生活における課題、そして「社会全体で子どもを育む」とはどういうことか、考えます。

日時：令和5年8月19日（土）14：00～16：00

場所：ウィルあいち 会議室5

対象：どなたでも

定員：30名 ※先着順

受講料：600円

申込方法：Web、メール又はFAX

申込締切：令和5年8月12日（土）必着

https://www.aichi-dks.or.jp/event-1stsemi2023_3.html

【三重県】

男性講座 パートナーときく“更年期”CHANGE of LIFE のススメ

自分では気づかない、気付いてからでは遅いと言われる「男性更年期」のこと、からだと心に大きな変調がみられる「女性の更年期」のこと、長くお互いを支え合う“パートナーシップ”を深めるために、一緒に学んでみませんか？

※本事業は「男性講座」のため、メインの申込者は男性（自認）の方でお願いいたします。

日時：令和5年7月22日（土）13：30～15：30（受付12：45～）

場所：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」1階 多目的ホール

対象：テーマに関心のある男性とそのパートナー（性別等不問）

※男性お一人でもお申込いただけます。

※女性のみでのお申込は御遠慮ください

受講料：無料

定員：100名程度 ※定員に達し次第締切

申込方法：郵送、電話、FAX、持参、メール又はWeb

<https://www.center-mie.or.jp/frente/event/sponsor/detail/45273>

【兵庫県】

女性のための働き方セミナー「アイデアをカタチにする起業」参加者募集

あなたの「アイデア」で起業するために、起業アイデアを「カタチ」にする方法や起業する前に知っておきたい基本知識などを学んで、新たな一歩を踏み出しましょう！

日時：令和5年8月9日（水）10：00～12：00

場所：兵庫県立男女共同参画センター セミナー室

対象：テーマに関心があり、これから起業を考えている女性

定員：12名 ※応募者多数の場合は抽選となります

受講料：無料

申込方法：Web

申込締切：令和5年7月28日（金）12：00

<https://hyogo-even.jp/seminar/new%ef%bc%81%e3%80%908->

[19%e6%b0%b4%e3%80%91%e5%a5%b3%e6%80%a7%e3%81%ae%e3%81%9f%e3%82%81%e3%81%ae%e5%83%8d%e3%81%8d%e6%96%b9%e3%82%bb%e3%83%9f%e3%83%8a%e3%83%bc%e3%80%8c%e3%82%a2%e3%82%a4%e3%83%87.html](https://hyogo-even.jp/seminar/new%ef%bc%81%e3%80%908-19%e6%b0%b4%e3%80%91%e5%a5%b3%e6%80%a7%e3%81%ae%e3%81%9f%e3%82%81%e3%81%ae%e5%83%8d%e3%81%8d%e6%96%b9%e3%82%bb%e3%83%9f%e3%83%8a%e3%83%bc%e3%80%8c%e3%82%a2%e3%82%a4%e3%83%87.html)

【奈良県】

令和5年度 働く女性介護トークサロン 「仕事と介護の両立」についてみんなで話しましょう

仕事をしながら介護をしている、もしくはこれからする予定がある皆さん、悩みや不安について一緒に話し合ってみませんか？お互いに悩みや不安を打ち明けたり考えたりしながら、解決のヒントを探ってみましょう。

日時：

第1回 令和5年8月5日（土）14：30～16：00

第2回 令和5年9月16日（土）14：30～16：00

第3回 令和5年10月21日（土）14：30～16：00

場所：奈良県女性センター 3階 講座室

対象：介護中又は介護予定の働く女性 ※介護経験者も参加可

定員：各回 15 人 ※先着順、1 講座から参加可

参加費：無料

申込方法：Web、郵送又は FAX

申込締切：

第 1 回 令和 5 年 8 月 2 日（水）

第 2 回 令和 5 年 9 月 13 日（水）

第 3 回 令和 5 年 10 月 18 日（水）

<https://www.pref.nara.jp/63437.htm>

【広島県】

ワンデイセミナー 進む長寿化と高齢期生活の変容

エソール広島では、誰もが支え合える関係づくりを目指して、支援者養成講座を開催しています。この講座では、支援をするための基礎知識と、その知識を活かして実践につなげる基本技術を学びます。基礎の学びは繰り返し立ち返る柱です。是非、御一緒に学んでみませんか。超長寿社会と言われる今を、高齢者はどのように生きているのでしょうか。コロナ禍で進んだ深刻な健康問題、世代を超え通底する貧困問題などをじっくり学びます。ジェンダーの視点を踏まえた内容です。御期待ください。

日時：令和 5 年 8 月 5 日（土）10：00～15：00

場所：エソール広島

対象：

- ・支援者
- ・支援者を目指す人

定員：30 名 ※定員に達し次第、受付は終了します。

受講料：6,000 円

申込方法：申込フォーム又は FAX

<http://www.essor.or.jp/blog/kouza/oneday0805>

【高知県】

男性家事・介護基礎講座 家事男（カジダン）親子料理教室

男性保護者のみなさん！お子さん・お孫さんと一緒に料理に挑戦してみませんか。プロの調理師による説明を受けながらの講座ですから、料理初心者でも大丈夫。夏休みにお子さんと有意義な時間を共有するチャンス。お互いに意外な一面を発見できるかも…。

日時：令和 5 年 8 月 20 日（日）10：00～13：00

場所：こうち男女共同参画センター「ソール」4 階調理実習室

対象：男性保護者と小学生の子、又は孫 ※2 人 1 組

定員：10 組（20 名）※先着順

参加費：一組につき 2,000 円 ※材料費含む

申込方法：電話

申込開始：令和5年7月21日（金）9：00～

<https://www.sole-kochi.or.jp/info/dtl.php?ID=2025&routekbn=S>

【佐賀県】

「まなびいフェスタ 2023」への出展者募集！

佐賀県立生涯学習センター（アバンセ）では、「まなびいフェスタ」を10月29日（日）に開催します。ただいま、生涯学習に取り組まれている個人やサークル、団体等の皆さんによる出展企画を募集しています。子どもから大人まで、幅広い世代の方が楽しめる学びや体験活動の出展をお待ちしています♪

応募対象：県民、各種団体、グループ

・企画内容

自身(団体)の技術や知識を活かした企画で、誰もが楽しく参加でき、生涯学習への意欲を高めるもの。

※出展タイプは以下の1～3から選んでください。

※当日の会場使用料は無料

1. 無料体験ワーク（ワークショップ）

当日の来場者が自由に参加できるタイプ：事前予約なし

2. ミニ講座・イベント

研修室等で参加者が受講するタイプ：事前予約あり

3. 作品展示

来場者が自由に作品を見学するタイプ

応募方法：持参、郵送、FAX 又はメール

応募締切：令和5年7月18日（火）

https://www.avance.or.jp/syougai/_2797/_5619.html

【大分県】大分市

男女共生セミナー「子育てカフェ」の受講生を募集します

子育て中の保護者を対象に、少人数の座談会形式で、子育ての悩みや困りごとを共有し、講師のアドバイス等で保護者の不安を軽減します。子育てに「多様性」の視点を取り入れることで、マニュアルやお手本に縛られない子育てを支援します。

日時：

・3回目 令和5年7月30日（日）10：00～12：00

・4回目 令和5年8月20日（日）10：00～12：00

※1回目、2回目は終了

場所：大分市男女共同参画センター会議室1

対象：

・3回目 小・中学生の保護者

・4回目 パパ・プレパパ

定員：10人 ※要予約・先着順

受講料：無料

申込方法：電話 ※4回目の申込は令和5年8月1日（火）より受付開始

<https://www.city.oita.oita.jp/o018/kosodate.html>

【宮崎県】

ジェンダーカフェ 夏休み課外授業

大人も子どもも一緒に学ぼう！自由研究にもおすすめ！SDGsの目標（ゴール）のすべてに関わるジェンダーについて楽しく学びます。親子での参加大歓迎！帰宅後、是非家族でジェンダーについて話してみましよう。お菓子とドリンクを用意してお待ちしております。

日時：令和5年8月5日（土）10：00～11：40（受付9：30～）

場所：宮崎県男女共同参画センター 研修室

対象：小学4年生～6年生とその家族、関心のある県民

定員：20名 ※先着順

参加費：無料

申込方法：Web、FAX、電話又はメール

https://www.mdanjo.or.jp/event/nastu_20230805/

【編集後記】

コロナ禍をきっかけに、テレワークの導入は急速に進み、今後は、従業員が状況に応じて会社とテレワークを柔軟に選ぶスタイルが増えていくことが期待されています。

国土交通省の「令和4年度テレワーク人口実態調査結果」によると、雇用型就業者でテレワークを実施している人の割合は、2022年では26.1%となっており、首都圏等の都市部や通勤時間が長くなるほど高い傾向がみられます。

場所にとらわれない柔軟な働き方を推進するには、制度や環境を整備する取組が不可欠です。その一つに、DXがあります。前出の国土交通省の調査でも、テレワークが定着している職場ほどデジタルツールの活用が進んでいることを示す結果が出ています。

今回御紹介した事例からも分かるように、Web会議ツールやチャットツールは、コミュニケーションが不足しやすいというテレワークの課題を解消するためにも有効です。テレワークが定着していない組織においては、こうしたツールを導入し、幅広い従業員に利用方法の周知を徹底することが「新しい働き方の実現」に向けた前進につながるかもしれません。

本メールは送信専用メールアドレスから配信されております。
このまま御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<http://wwwa.cao.go.jp/wlb/index.html>